

様式2 輸出事業計画

※申請者名：全国農業協同組合連合会大分県本部、品目：かんしょ・かんしょ加工品

1. 輸出における現状と課題

○現状

高糖度かんしょ「甘太くん」は、平成20年に全国農業協同組合連合会大分県本部（JA全農おおいた）が商標登録を行い、「ウイルスフリー苗の使用」「40日以上貯蔵」「糖度検査の実施」という基準で、完全共販による品質統一を図りながら販売している。輸出を始めたのは平成24年度からで、家庭用炊飯器で蒸し芋を調理する際に手頃なサイズとして需要があるなど、香港を中心に輸出量を伸ばしている。

○課題

現在、輸出向けの甘太くんの大半は、当本部が生産者から小芋を土付きで直接買い取り、洗浄、乾燥、選別・こん包作業を行うことで物量を確保している。今後の輸出拡大を見据えた場合、現状の作業規模（作業場所や作業人員等）では対応が難しくなっている。流通面では、近場でない輸出先国への販路拡大に伴い、長期の船便輸送等により現地着荷時点で一部腐敗が生じており、輸送中の品質保持に加え、選果・貯蔵時における腐敗対策も求められている。

また、販売面について、販売店舗ではかんしょ（さつまいも）の種類も多く、安価な海外産も陳列されているため、消費者に対し商品説明や試食等で訴求する必要がある。

2. 輸出事業計画の取組内容

【生産面】

- ・今後の生産量の拡大や輸出量の拡大を見据え、関係機関と連携し、集出荷・貯蔵体制の拡充を検討する。

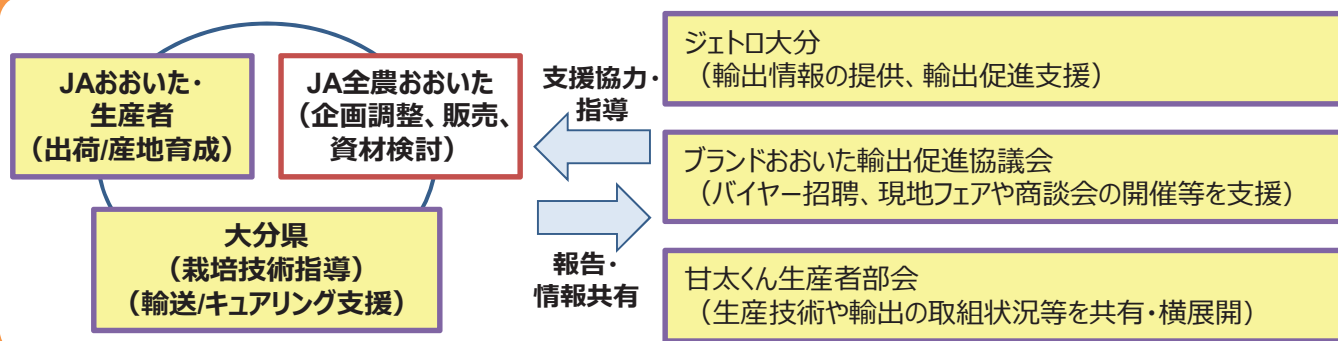
【流通面】

- ・現地着荷時点で一部腐敗が生じていることから、県、JAおおいた、輸出事業者等と連携して輸送試験を行い、試験結果を都度検証しながら、キュアリング処理の導入、包装用資材の改良等を検討する。

【販売面】

- ・現地販売店舗にてマネキン等を活用した推奨販売や試食販売を実施するなど、品質の高さを訴求する販売促進活動を展開する。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	現状（令和2年度）	目標（令和6年度）
輸出額（千円）	24,611	40,500
輸出量（t）	65.7	135
輸出先国	香港・シンガポール・タイ・マレーシア・ベトナム	香港・シンガポール・タイ・マレーシア